特別支援教育コーディネーターの役割・機能について

松　村　勘　由

キーワード：特別支援教育コーディネーター、役割と機能、資質と技能

１．特別支援教育コーディネーターの役割と機能の在り方の検討

特別支援教育コーディネーターは、「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」（平成15年３月）（以下、「最終報告」）の中で、今後の特別支援教育を支える機能の一つとして位置付けられたものである。この研究では、特別支援教育コーディネーターの役割と機能を整理するにあたり、最終報告の記述を基に、その役割・機能を次のように整理した。

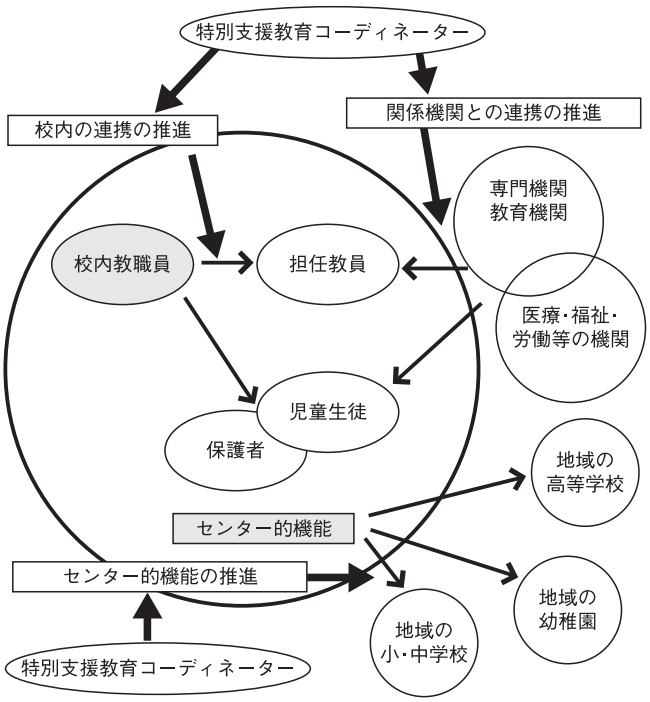
（１）**特別支援教育コーディネーターは、** 保護者や関係機関に対する学校の窓口として、また、学校内の関係者や福祉、医療等の関係機関との連絡調整の役割を担う者として位置付けられている。

盲・聾・養護学校では、医療的ケアの必要な児童生徒への対応のため、**医療機関や福祉機関と連携・協力**をしたり、学校外の専門家による指導・助言を受けるなど、児童生徒のニーズに応じた教育を展開していくための推進役としての役割、また、各学校の教員の専門性や施設・設備を活かし、地域における特殊教育に関する相談の**センター的な機能**を推進する役割があると考えられる。

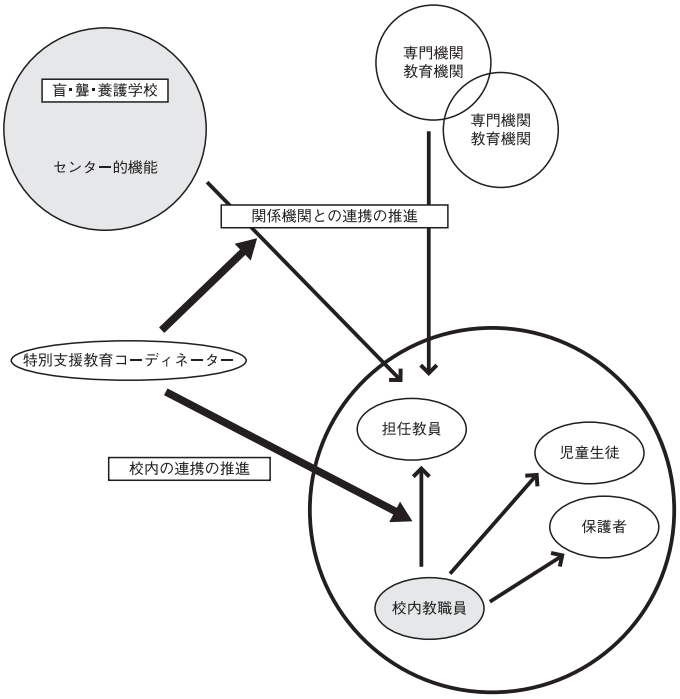
また、**小・中学校では、**学校内の関係者間の連携協力、盲・聾・養護学校などの教育機関、医療・関福祉機関との連携協力の推進役としての役割があると考えられる。

最終報告の中では、特別支援教育コーディネーターについて、「窓口的役割」、「連絡調整役」としての役割が示されている。「窓口的役割」「連絡調整役」とは、具体的な支援活動を行うのではなく、具体的な支援活動を推進する役割として位置付けられると考えることができる。

コーディネーターの語源となっているコーディネーションとは、英語で調整することという意味を持つ。一般的には、組織がその目標を達成するため、行動の統一を図ること、分散された管理機能を調和・整備すること等と説明されている。特別支援教育では、学校教育の中に分散されている既存の教育的資源と地域に散在する関連領域の支援資源を引き出し、それらを組み合せて、児童生徒



盲・聾・養護学校



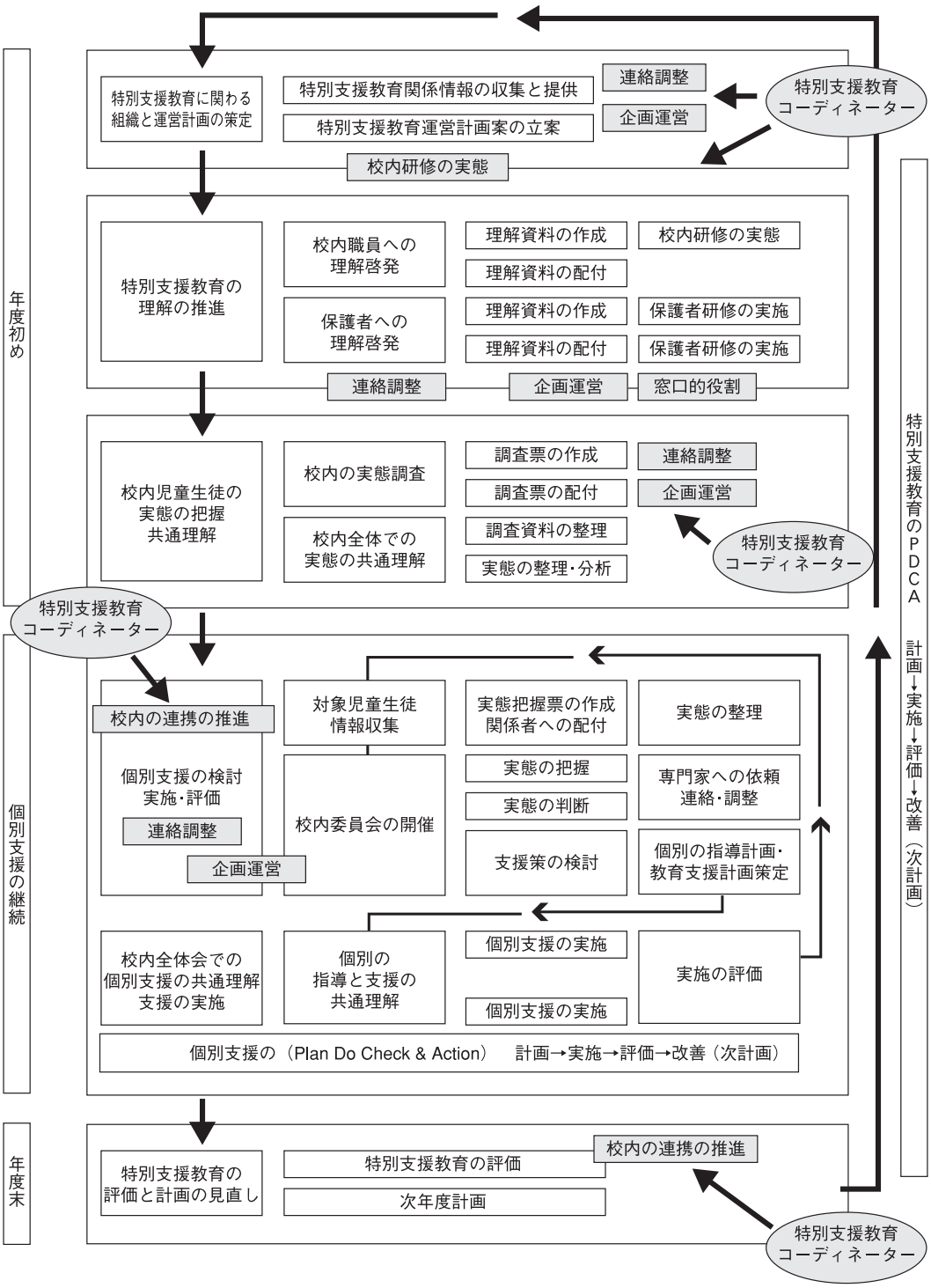
小・中学校

のニーズに結びつけていくための働きと考えられる。

特別支援教育コーディネーターは、校内外の関係者との連絡・調整を行いながら、様々な関係機関・者の資源を紡ぎ、児童生徒の支援を組み立ていく役割と考えられる。

2．特別支援教育コーディネーターの諸活動

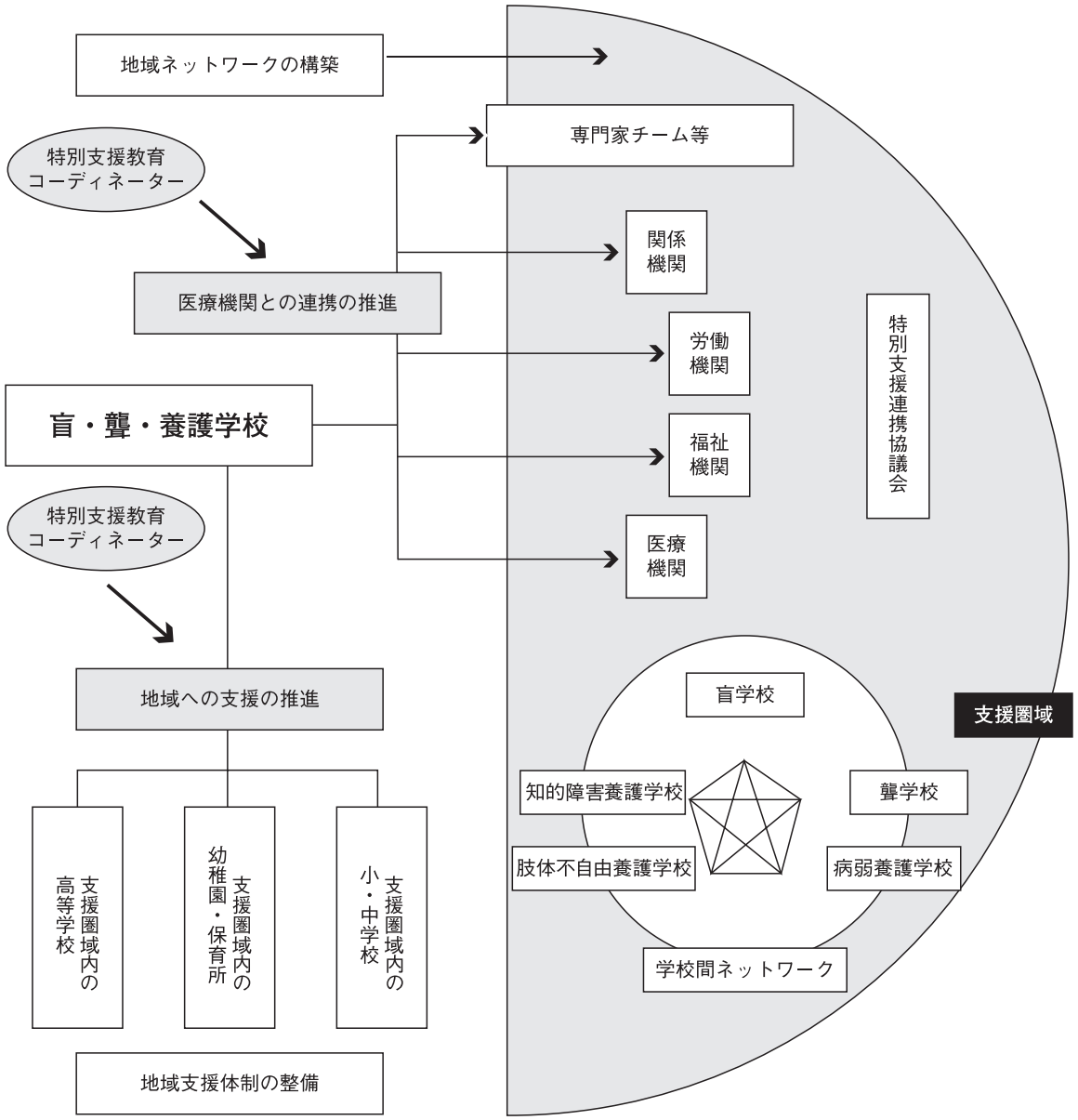
特別支援教育に関する校内の諸活動は、①校内の特別支援教育全体に関する内容 ②個別的支援に関する内容に大きく分けることができる。下の図は、小・中学校の活動の例を示したものだが、①については、特別支援教育の組織や運営計画の立案に関する事項、特別支援教育の理解啓発の推進に



［特別支援教育の１年間の活動と特別支援教育コーディネーターの役割］（小・中学校の例）

関する内容、校内の実態把握等に関する内容がある。②については、校内委員会の開催等個別支援に関する内容である。特別支援教育コーディネーターは、これらの事項を推進する役割がある。

盲・聾・養護学校の特別支援教育コーディネーターは、①校内の特別支援教育全体に関する内容 ②個別的支援に関する内容に加えて、③各学校のセンター的な機能に関する内容が加わる。下の図は、盲・聾・養護学校における特別支援教育の活動の例を示したものだが、盲・聾・養護学校の特別支援教育コーディネーターには、各学校の支援圏域での連携体制の整備や特別支援教育連携協議会との連携、関係機関との連携関係の構築、地域の小・中学校等への支援体制の整備等、特に地域の支援ネットワークの形成に関わる内容が重要と思われる。また、盲・聾・養護学校では、特別支援教育コーディネーターの役割が多様となるために、複数の教員が指名されることが多い。



盲・聾・養護学校のコーディネーターの役割

３．特別支援教育コーディネーターの活動、資質、技能について

特別支援教育コーディネーターは、保護者の相談の窓口となったり、校内外の関係者の間を連絡調整し、児童生徒への支援を推進する役割を持っている。

特別支援教育に関わる諸活動の中で、様々な機能を果すことが期待される。そのために資質や技能には次のようなものがあると考えられる。

役割	活動と必要な力	そのための資質や知識・技能	
保護者の相談の窓口	保護者の心配なことに耳を傾け，その状況を把握し，支援につながる次のステップへ導くための力	カウンセリングマインド	カウンセリング技能
		障害についての知識	アセスメントの技能
校内の教員の相談の窓口	教員の心配なことに耳を傾け，その状況を把握し，支援につながる次のステップへ導くための力	カウンセリングマインド	カウンセリング技能
		障害についての知識	アセスメントの技能
校内外の関係者との連絡・調整	校内外の関係者から情報を集め，支援のための知恵や力を引き出し，チームワークを形成する力	情報収集・活用の技能	交渉する力
		ファシリテーション技能	人間関係を調整する力
地域の関係機関との連絡・調整連携とネットワークの構築	地域の関係機関の情報を集め，関係者間をつなぎ，支援のためのネットワークを形成する力	情報収集・活用の技能	交渉する力
		ファシリテーション技能	人間関係を調整する力
教育的支援の充実	校内支援体制の整備，理解啓発，支援・指導の研究・研修等の推進，地域への啓発や支援を推進する力	障害についての知識	個別の指導計画・個別の教育支援計画の知識
		特別支援教育に関する知識	教科指導や学級経営に関する知識・技能

これらの知識や技能は、一人の教員が、はじめから備えているものではない。経験や研修を積み上げる中で、少しずつ広げたり、深めたりしていくものと考えられる。また、それらの技能や資質を持っているの他の教員と連携・協働し、チームアプローチで取り組むことも必要である。